

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21800 環境都市推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、風、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、日本一の自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)を目指します。
	款	2	総務費	個別分野		1	地球環境							
	項	1	総務管理費	施策概要		5	自然エネルギーを活かしたまちづくり							
	目	19	環境政策費	根拠計画		高山市環境基本計画								
担当課	環境政策部	環境政策推進課	内線	2283										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を図る。	概要	・環境審議会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による自然エネルギー利用の普及啓発
----	------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	16,446MWh	23,712MWh	80,000MWh
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	(H26) 32.0%	29.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		7,385	6,855	5,723	5,773	4,751	△ 2,104
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		7,385	6,855	5,723	5,773	4,751	△ 2,104
個票枝番	主な事業内容						
	環境審議会	273	191	273	273	173	△ 18
	自然エネルギーによるまちづくり検討委員会	2,000	1,172	940	940	645	△ 527
	自然エネルギー利用の普及啓発	4,000	3,999	2,000	2,000	1,987	△ 2,012
	森のエコハウス施設修繕	892	815	2,200	2,250	1,733	918

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		5,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
4,085	4,023	4,023		△ 1,700
4,085	4,023	4,023		△ 1,700
査定額	説明			
273				
940				
2,000				
500				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(検討委員会5回、地元部会4回) ・高山エネルギー大作戦フォーラムの開催(参加者156人)
評価等	・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会より、自然エネルギーによるまちづくりを実現するための提言を頂いた。今後、飛騨高山モデルの確立に向けて取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(3回) ・高山エネルギー大作戦フォーラムの開催(参加者155人) ・公共施設における木質バイオマスによる熱供給事業者を公募し決定
評価等	・自然エネルギーによるまちづくりの実現に向けて、エネルギーや環境問題に関心を持つ市民、事業者を増やしていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・現状課題を踏まえた自然エネルギー施策の方向性を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・市民等による自然エネルギー利用の普及啓発
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
	款	2	総務費	個別分野		1	地球環境						
	項	1	総務管理費	施策概要		4	低炭素社会の形成						
	目	19	環境政策費	根拠計画		高山市環境基本計画、高山市地球温暖化対策地域推進計画							
担当課	環境政策部	環境政策推進課	内線	2283									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	・都市部の自治体や企業とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、交流・連携を図る。 ・地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部自治体等へのPRを図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5.5万トン	未確定	11.7万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		5,350	3,844	5,350	5,300	3,135	△ 709
特定財源	国費 ()						
	県費 (森林づくり交流推進事業費補助金 68/100)	3,000	2,246	3,000	3,000	1,838	△ 408
	その他(カーボンオフセット事業費負担金)	1,000	729	1,000	1,000	587	△ 142
一般財源		1,350	869	1,350	1,300	710	△ 159
個票枝番	主な事業内容						
	千代田との協同による森づくり(カーボンオフセット)	5,200	3,744	5,200	5,150	3,049	△ 695
	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	150	100	150	150	86	△ 14

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		5,300
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
5,476	5,350	5,350	0	
3,000	3,000	3,000	0	
1,000	1,000	1,000	0	
1,476	1,350	1,350	0	
査定額	説明			
5,200	森林整備工事費等			
150				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 20.4ha) ・みどりふれあうフェスティバルへの出展 ・みなと森と水サミット2016、建材展、ちいき百貨に参加
評価等	・CO2削減に向けた継続的な取組みを進めるほか、都市部の民間団体等との相互交流を促進する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定
	・CO2吸収量の拡大を図るため、引き続き森林整備を行うとともに、民間レベルの相互交流を促進する。 ・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における市内木材供給の拡大につながる取組みを進める。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 15.08ha) ・みどりふれあうフェスティバルへの出展 ・みなと森と水ネットワーク会議への参加
評価等	・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における市産材の供給実績が上がらないため、制度の検証と見直しを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
	・CO2吸収量の拡大を図るため、引き続き森林整備を行うとともに、民間レベルの相互交流を促進する。 ・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における市内木材供給の拡大につながる取組みを進める。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・千代田区との協定に基づくカーボンオフセット事業の実施 ・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・家庭・事業所・施設などにおける自然エネルギー設備の導入を支援します
			款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
			項	1	総務管理費		施策概要	5	自然エネルギーを活かしたまちづくり		
			目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進する。	概要	・市民や事業者による木質バイオマスなどの新エネルギー設備の導入を促進する。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	16,446MWh	23,712MWh	80,000MWh
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5.5万トン	未確定	11.7万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		37,805	7,983	100,400	109,400	18,513	10,530
特定財源	国費()						
	県費(自然エネルギー普及促進事業費補助金 1/2)					4,791	4,791
	その他(預託金元金収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)			69,800	69,800	1,810	1,810
一般財源		37,805	7,983	30,600	39,600	11,912	3,929
個票枝番	主な事業内容						
	木質バイオマス活用促進事業補助金	28,805	7,983	30,000	30,000	6,864	△ 1,119
◎ 1	未利用間伐材の搬出促進			2,000	2,000	1,782	1,782
◎ 2	地域団体の自然エネルギー活用支援			67,400	67,400	1,000	1,000
◎ 3	小水力発電アイデアコンテストの開催			1,000	1,000	1,000	1,000
	木質バイオマス熱供給ビジネスセミナーの開催	9,000	0		9,000	7,843	7,843

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		109,400
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
99,400	45,400	45,400	△ 55,000	
40,000	21,700	21,700	△ 48,100	
59,400	23,700	23,700	△ 6,900	
査定額	説明			
15,000	ペレット・薪ストーブ及びボイラー導入助成			
6,000	収集運搬車(積まマイカー)の運行委託			
24,400	調査設計に対する助成、資金融資及び利子補給			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・ペレットストーブ等導入台数 86件
評価等	・ペレット、薪ストーブの導入に対する助成件数は横ばいとなっているが、CO2排出量削減、循環型社会の構築につながることから引き続き実施する。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減、木質バイオマスの活用による循環型社会の構築と地球温暖化防止の効果が期待できるため、木質バイオマス活用促進事業補助金を継続する。 ・公共施設における木質バイオマスの導入をすすめる。 ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ等導入台数 74件 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 282t ・地域団体の自然エネルギー活用支援 1件 ・小水力アイデアコンテストの開催 参加者228人 ・木質バイオマス熱供給ビジネスセミナーの開催 13回 258人
評価等	・積まマイカーの運行によって地域の未利用材を活用しエネルギーの地産地消を促進することができた。 ・自然エネルギーによる発電事業については、売電収入による地域課題の解決が期待できるが、送配電設備の容量不足により事業を進められない状況にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの地産地消を目的とした木の駅と燃料加工所を結ぶ「積まマイカー」の運行 ・ペレット、薪ストーブ・ボイラーの導入に対する助成 ・地域主導による自然エネルギーの活用支援
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策推進課		
枝番・内容	1 未利用間伐材の搬出促進		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input checked="" type="checkbox"/> H29拡充		款	2	総務費				
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	1	総務管理費			内線	2283
			<input type="checkbox"/>			目	19	環境政策費			作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・未利用間伐材(林地残材)を利用した木質バイオマス燃料の市内への安定供給により、エネルギーの地産地消による地域内経済循環を図る。	概要	・市内各所に開設されている「木の駅」に集まった間伐材を収集し、エネルギー原料加工所に運搬する。
----	--	----	---

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	・間伐材収集運搬委託料	
対前年度増減額(当初予算)		2,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	2,000
	繰越	
	補正等	
	最終	2,000
決算額		1,782
対前年度増減額(決算)		1,782

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	・間伐材収集運搬委託料	
対前年度増減額(当初予算)		4,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の駅に集められた間伐材の収集運搬 	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.5月 木の駅開設(赤保木町) ・H28.9月 木の駅開設(清見町藤瀬、清見町夏蔵、漆垣内町、丹生川町大沼) ・H28.11月 木の駅開設(国府町宮地) ・H29.3月 木の駅開設(上宝町吉野) 	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の駅の開設 7か所 ・エネルギー原料加工所登録 2か所 ・収集運搬回数 58回 ・収集運搬量 282t <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の駅プロジェクトによって集められた未利用間伐材が、ペレットに加工され市内小中学校のペレットストーブの燃料として供給されるなど、エネルギーの地産地消につながった。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の駅(9か所)に集められた間伐材の収集運搬 収集運搬回数 126回、収集運搬量 500t 	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29.10月 木の駅開設(荘川町) ・H30.3月 木の駅開設(高根町) 	

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策推進課	
枝番・内容	2 地域団体の自然エネルギー活用支援		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	2	総務費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線			2283
		<input type="checkbox"/>		目		19	環境政策費	作成年月			H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域資源を活かした地域主導型の自然エネルギーの導入促進により、自然エネルギーによる暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを進める。	概要	・町内会など地域団体の自然エネルギー活用に対する支援
----	---	----	----------------------------

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	67,400
主な経費	・自然エネルギー活用支援事業補助金 5,000	
	・自然エネルギー活用支援資金融資利子補給金 2,000	
	・自然エネルギー活用支援資金融資預託金 60,000	
対前年度増減額(当初予算)		67,400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	67,400
	繰越	
	補正等	
	最終	67,400
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		1,000

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	24,400
主な経費	・自然エネルギー活用支援事業補助金 3,000	
	・自然エネルギー活用支援資金融資利子補給金 1,000	
	・自然エネルギー活用支援資金融資預託金 20,000	
対前年度増減額(当初予算)		△ 43,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーの導入に取り組む地域団体へのアドバイザー派遣 ・自然エネルギー設備の導入に向けた調査設計の一部を助成 ・自然エネルギー設備を整備するための資金融資及び3年間の利子補給
[スケジュール]	

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー活用支援事業補助金 1件
[課題]	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.3月頃から岐阜県北エリアにおいて、中部電力送配電設備の容量不足が発生しており、固定価格買取制度を活用した発電計画を進められない状況となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主導による自然エネルギーの導入は、地域課題の解決にもつながることから引き続き実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーの導入に取り組む地域団体へのアドバイザー派遣 ・自然エネルギー設備の導入に向けた調査設計の一部を助成 ・自然エネルギー設備を整備するための資金融資及び3年間の利子補給
[スケジュール]	

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策推進課	
枝番・内容	3 小水力発電アイデアコンテストの開催		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	2	総務費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線			2283
		<input type="checkbox"/>		目		19	環境政策費	作成年月			H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・東海北陸7県の高等専門学校の学生が、地域資源を活用した小水力発電のアイデアを提案し、設計、製作、設置を通じ、自然エネルギーへの理解や普及に貢献することを目的とする。	概要	・第6回小水力発電アイデアコンテストの開催
----	---	----	-----------------------

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・小水力発電アイデアコンテスト実行委員会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		1,000

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回小水力発電アイデアコンテストの開催(丹生川町地内) ・現地調査、候補地選定のための合宿 ・参加校による発電装置の設計、製作 ・発電装置の設置、発表会 	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.6月 合宿(現地調査、候補地選定) ・H28.7月～H29.2月 発電装置設計、製作 ・H29.3月 設置、発表会 	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回小水力発電アイデアコンテストの開催(参加校7校 オープン参加2団体 参加者 228人) <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりを学ぶ高山工業高校にもオープン参加して頂いたことで、多くの市民に審査員になって頂き、コンテストを通じて自然エネルギーの活用について理解を深めて頂くことができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21840 地球温暖化対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・緊急時に利用される避難所などにおいては、太陽光発電設備などの整備を進めます。
	担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283		款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
						項	1	総務管理費		施策概要	4	低炭素社会の形成		
						目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画、高山市地球温暖化対策地域推進計画			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・クリーンエネルギー自動車の普及促進などにより低炭素社会の形成を図る	概要	・電気自動車用充電設備の設置によるクリーンエネルギー自動車の普及促進 ・クリーンエネルギー自動車の公用車率先導入
----	------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5.5万トン	未確定	11.7万トン
化石燃料から自然エネルギーへの転換量(年間)	3,322kl	未確定	7,700kl

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		191,199	158,020	5,700	5,700	4,917	△ 153,103
特定財源	国費()						
	県費(新エネルギー設備整備事業費補助金 10/10)		25,403				
	その他(新エネルギー設備整備事業雑入 2/3)		76,030				
一般財源		191,199	56,587	5,700	5,700	4,917	△ 51,670
個票枝番	主な事業内容						
	電気自動車用急速充電器の設置・運営	23,099	22,372	5,700	5,700	4,917	△ 17,455
	防災拠点施設整備	168,100	135,648				

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
6,014	6,150	6,150	450	
6,014	6,150	6,150	450	
査定額	説明			
6,150	電気使用料、機械器具保守点検委託料			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・電気自動車用急速充電器の設置(3か所) ・急速充電器利用台数 2461台 ・防災拠点施設への新エネルギー設備の導入(5か所)
評価等	・防災拠点施設への新エネルギー設備の導入によって、CO2排出量の削減に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	・市民や事業者との連携による再生可能エネルギーの導入や二酸化炭素排出抑制の取り組みを進める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・電気自動車用急速充電器の設置(1か所) ・急速充電器利用台数 2577台
評価等	・民間との連携(E-OASISプロジェクト)により、道の駅なもり清見に急速充電器を設置した。
次年度以降の考え方(担当課)	・民間事業者との連携により、道の駅への急速充電器の設置を進める。 ・燃料電池自動車の普及促進として、水素ステーションを市内に誘致する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・電気自動車用急速充電器の維持管理 ・民間連携による道の駅への電気自動車用急速充電器の整備

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
------------	----------

市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに
----------	-------------

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21850 生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	2	総務費		個別分野	1	地球環境	
			項	1	総務管理費		施策概要	3	生物多様性の保全	
			目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画、生物多様性ひだたかやま戦略		
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。	概要	・自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 ・土地本来の木を植樹する「いのち森づくり」の実施 ・特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
特定外来生物防除活動団体数	22団体	24団体	35団体
特定外来生物防除活動参加者数(延べ人数)	697人	598人	1,200人

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		9,359	7,360	9,155	9,155	6,560	△ 800
特定財源	国費()						
	県費(生物多様性保全推進事業費補助金 10/10)	3,000	0	2,800	2,800	2,321	2,321
	その他()						
一般財源		6,359	7,360	6,355	6,355	4,239	△ 3,121
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森を活用した自然環境学習	3,500	3,257	3,500	3,500	2,915	△ 342
	いのちの森づくり(苗木植樹等)	1,427	649	1,700	1,700	840	191
	外来植物(オオハongoソウ等)の除去・啓発	3,977	3,119	3,500	3,500	2,429	△ 690

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		9,500
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
13,810	13,205	13,205	4,050	
	2,000	2,000	△ 800	
13,810	11,205	11,205	4,850	
査定額	説明			
3,500	自然環境学習事業委託料			
1,700	原材料費等			
7,550	特定外来植物防除委託料等			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・自然環境学習の開催 14校 975人 ・山の自然学校の開催 5回 129人 ・いのちの森づくり植樹の実施 30人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 8回 120人
評価等	・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来植物講習会や奨励金の交付により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	・その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などによる生物多様性の保全を進めるため、児童生徒をはじめとした市民に対する環境教育の機会を提供するとともに、市民による主体的な取り組みにつながるような働きかけを進める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・自然環境学習の開催 20校 968人 ・山の自然学校の開催 5回 115人 ・いのちの森づくり植樹の実施 30人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 10回 302人
評価等	・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来植物講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な取り組みにつながるような働きかけを進める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・これまでの取り組みの検証と今後の方向性を検討すること。
担当課予算要求ポイント	・地元町内会や民間団体、地域在住の講師などと連携した環境保全への取り組みや環境学習の実施 ・子供たちへの地域の素晴らしい自然の体感と、自然保護の大切さを学ぶ機会の提供 ・その土地本来の生態系の保全のためのオオハongoソウ等の特定外来生物の防除
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	地球環境	
			項	2	観光費		施策概要	1	自然環境の保全と活用	
			目	3	自然公園費		根拠計画	高山市環境基本計画		
担当課	環境政策推進課	内線	2284							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより自然環境の保全と活用を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園、県立自然公園等の適正利用やユネスコ世界自然遺産、ジオパーク、ユネスコエコパークの取り組みを進める。 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の維持管理を行うことにより、適正な利用と利用者の安全確保を図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	(H26) 32.0%	29.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		68,060	62,761	86,971	86,971	74,277	11,516
特定財源	国費()						
	県費(乗鞍スカイライン道路パトロール事業委託金10/10 等)	17,130	15,594	17,010	17,010	15,444	△ 150
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	302	302	7,300	7,300	5,930	5,628
一般財源		50,628	46,865	62,661	62,661	52,903	6,038
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	18,491	17,254	22,781	22,781	19,918	2,664
◎ 1	乗鞍山麓五色ヶ原の森 新規ルートの整備			7,050	7,050	3,182	3,182
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	33,540	31,044	33,420	33,420	30,535	△ 509
	登山道管理	8,430	7,512	16,330	16,330	14,578	7,066
	エコパークの推進	400	436	580	580	705	269
	ジオパークの推進	1,500	1,117	5,500	5,500	4,100	2,983
	「山の日」制定記念イベントの開催			800	800	628	628

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	155,200
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-)
255,078	223,326	223,326	136,355
22,311	22,010	22,010	5,000
232,767	159,216	159,216	96,555
査定額	説明		
18,481	乗鞍山麓五色ヶ原の森指定管理料等		
128,091	乗鞍山麓五色ヶ原の森新規ルート整備に伴う山小屋の建設等		
33,420	乗鞍自動車利用適正化協議会負担金等		
29,330			
1,020			
12,000	飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金		
420			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み2,490人 ・乗鞍スカイラインの入り込み推計120,935人 ・乗鞍フォーラムを開催し、約180人が参加
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 ・国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携を強化し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。 ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者増加につながる取り組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について利用者増加につながる具体的な取り組みを行う。 ・五色ヶ原の森自然保護審議会の意見をふまえた新たな歩道整備や避難小屋の整備を行うとともに、老朽化した施設の維持管理を行う。 ・乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 ・ジオパークについては、関係団体と連携を図りながら、地域での自主的かつ積極的な活動を促進し、日本ジオパーク認定に向けた準備を行う。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み2,512人 ・乗鞍スカイラインの入り込み推計115,599人 ・乗鞍フォーラムを開催し、約150人が参加 ・山の日制定記念ガイドツアーを開催し、186人が参加
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 ・国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携を強化し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。 ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者増加につながる取り組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について利用者増加につながる具体的な取り組みを行う。 ・乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 ・ジオパークについては、飛騨山脈ジオパーク推進協議会や関係団体と連携を図りながら、地域での自主的かつ積極的な活動を促進し、日本ジオパーク認定を目指す。

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍岳と五色ヶ原の森の魅力増進に関する施策を検討すること。 ・ユネスコエコパークの活用に関する施策を検討すること。 ・ジオパークの推進に関する施策を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森新規ルートの整備 ・自然公園内施設の改修整備による利用者の安全確保 ・日本ジオパーク認定に向けた推進協議会の支援やユネスコエコパーク活用の取り組み

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
------------	----------

市長査定の考え方	・財務部査定のとおり
----------	------------

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策推進課	
枝番・内容	1 乗鞍山麓五色ヶ原の森 新規ルートの整備		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input checked="" type="checkbox"/> H29拡充		款	6	商工費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線			2284
		<input type="checkbox"/>		目		3	自然公園費	作成年月			H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより自然環境の保全と活用を図る。	概要	・乗鞍山麓五色ヶ原の森の新規ルート整備により、新たな魅力の発信を行い、利用者の増加や地域の活性化につなげる。
----	--	----	--

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	7,050
主な経費	・五色ヶ原の森新規ルート山小屋設計業務委託料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	7,050
	繰越	0
	補正等	0
	最終	7,050
決算額		3,182
対前年度増減額(決算)		3,182

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	128,091
主な経費	・新規ルート整備工事 ・山小屋監理業務	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ルート現地調査謝礼 ・五色ヶ原の森新規ルート山小屋設計業務 一式 	
<p>[スケジュール]</p>	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五色ヶ原の森新規ルート現地調査の実施 ・新規ルート現地調査 ・新規ルート山小屋設計業務 <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原生林や白川、黒川などの溪流、旧登山道の痕跡などを巡る新たな登山道の調査を行うことができた。 ・山小屋の設計にあたっては、マイクロ水力発電による電力使用やバイオトイレの採用など、これまでの五色ヶ原の森の山小屋のコンセプトを守りつつも、経費節減に努めた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五色ヶ原の森新規ルート整備工事 山小屋建設工事 1棟 歩道整備工事 L=3,000m 避難路及び管理用道路工事 L=3,000m ・山小屋設計監理業務 一式 	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月以降に各工事発注 ・11月末までに工事完了 	